

第23回広島市立広島特別支援学校高等部卒業証書授与式
校長式辞

今年の2月、岬の広場に植樹した被爆桜のつぼみが膨らんできました。期待と不安で入学した3年前の皆さんは、この3年間で心も身体も大きく成長しました。本校を卒業する日が来ました。第23回高等部卒業生の95名の皆さん、御卒業おめでとうございます。

保護者・御家族・施設の、皆様お子様の御卒業を心からお祝い申し上げます。これまでの子育ての歴史は、決して平坦なものではなかったかと御推察いたします。お子様は、卒業後の長い生活が始まります。どうかお身体をいとわれてください。これまでいただきました本校教育への御理解と御協力に、厚く感謝申し上げます。

本日、御多用な中、御臨席を賜りました御来賓の皆様、卒業生の祝福に駆けつけていただき誠にありがとうございます。今後とも、卒業生に、これまで以上の御厚情を賜りますようよろしくお願いいたします。

さて、卒業生の皆さん、皆さんの後ろには在校生が輝かしい先輩の姿を見守っています。これまで一生懸命取り組まれてきたことをきっと引き継いでいくことと思います。これから生きて行かれる社会生活のお手本として御活躍されますことを願っています。

少し、学校生活を振り返ってみましょう。体育祭、スウェーデンリレーでの最後まで走りきる姿は見事でした。ブラジル体操やポンポンダンス、集団演技とフラッグ演技、仲間が一つになることを学びました。文化祭では、それぞれの作業グループやサービス班の製品作りからお店作り、販売・接客。どれも毎日の学習成果を見事に発表されました。舞台での合唱では、カッコいい姿を忘れることができません。出島地域に出かけての清掃奉仕活動「出島クリーン作戦」。挨拶運動などの生徒会活動。休憩時間での友達との楽しいお話や、遊び。たくさんの友達ができました。友達を思いやる優しい心も磨かれてきました。本校に入学してよかった、本校で学べてよかったと皆さんから聴きました。

卒業生に「卒業後、働いていただいたお給料は何に使いますか。」とたずねました。お家の人にあげる。お家の人と食事に行く。お家の人と旅行に行く。と答えました。「何で。」と聴くと、これまでお世話になった御恩を返したいと言われました。私は、涙が出ました。皆さんは、すごい。

これから生きていかれる道は、決して楽しいことばかりではないと思います。つらいとき悲しいとき、一歩前に進んでください。皆さんは、限りない力を持っています。あなたしかない素晴らしい魅力と優しい心を持っています。本校の皆さんの目標「明るく、元気に、たくましく」を胸に、精一杯生きて行かれることを願って卒業生の皆さんに贈る言葉とします。

平成30年3月9日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行